

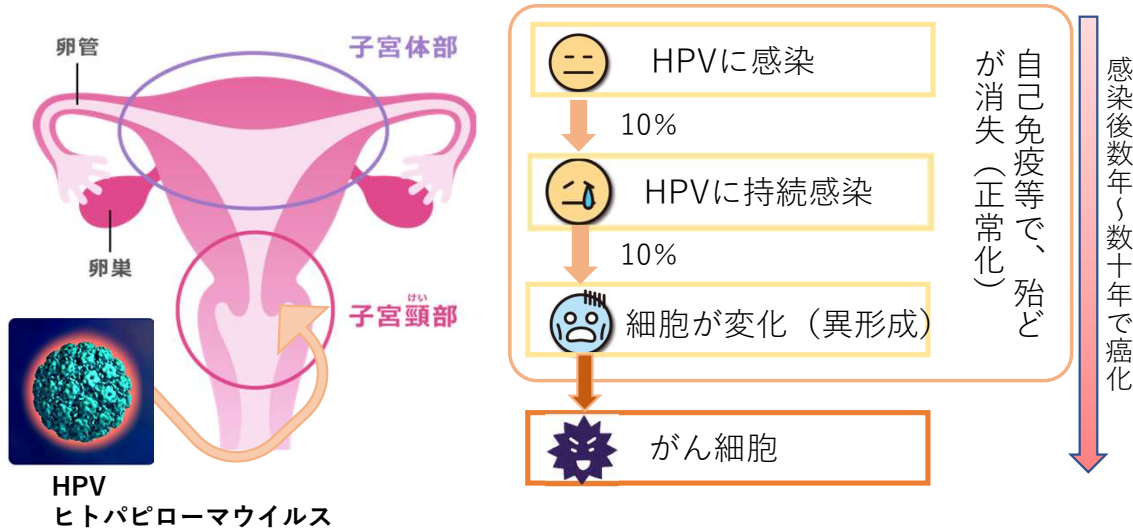
毎年3月4日は「国際HPV啓発デー」

## 3月 子宮頸がんを予防しよう



### ■ 子宮頸がんとは ■

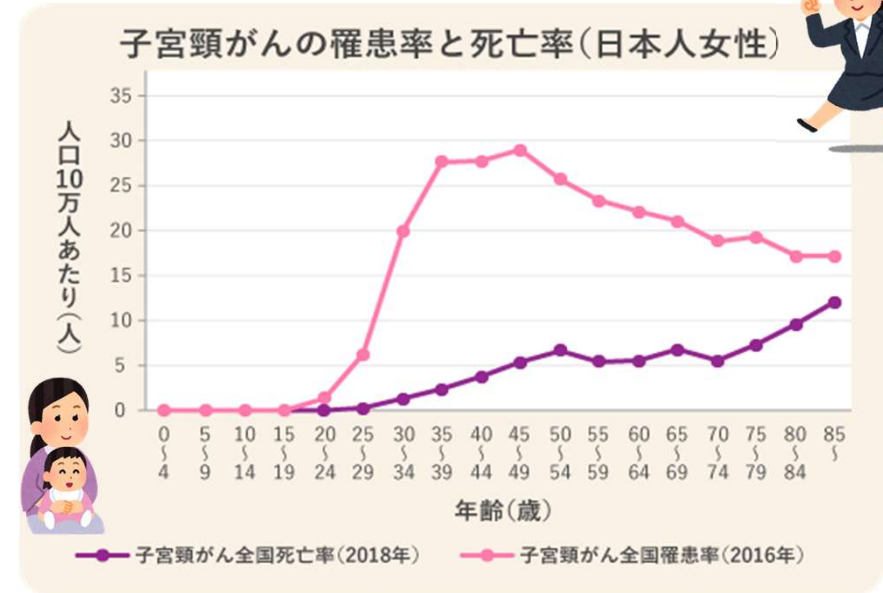
子宮頸がんは、子宮の入り口に癌ができる病態のことをさします。遺伝などは関係がなく、性交渉などによるヒトパピローマウイルス（HPV）への感染が主な原因とされています。



性交渉経験がある約80%の女性が50歳までに一度はHPV感染するといわれています。男性はがんに進行することはほとんどなく、感染しても症状は無いため無自覚のうちにパートナーに感染させてしまいます。

HPVは200種類以上ありますが、発がん性のある高リスク型と、低リスク型があります。子宮頸がんの約65%はヒトパピローマウイルス（HPV）16型と18型の感染です。16型、18型のHPV感染の場合、がんへの進行が早いことが多いので、検診が重要となってきます。

### ■ 子宮頸がんの罹患率と死亡率 ■



子宮頸がんの発症ピークは30~40代で、子宮体癌の好発年齢が50代であることと比較すると若いです。子育て世代の母親が子どもを残して亡くなるケースもあることから「マザーキラー」とも呼ばれています。

1995年頃より、20代後半から30代の若い女性の罹患率や死亡率が増加傾向にあります。理由としては、性行動の低年齢化や性教育の不十分さがあると考えられています。

日本では1年に16,000~17,000人の女性が罹患し、一生のうちにおよそ76人に1人が子宮頸がんと診断されています。

子宮頸がんは、女性特有のがんの中では乳がんに次いで第2位を占めており、特に20代から30代の女性においては、発症するすべてのがんの中で第1位となっています。

## ■ 子宮頸がんの症状 ■

### ● 初期の症状

ほぼ無症状

(そのため、検診で子宮頸がんが発覚することがほとんど)



### ● 進行期の症状

- 性交時出血
- おりものの異常 (茶褐色、黒褐色のおりものが増える、など)
- 不正出血 (月経時以外の出血)
- 下腹部や腰の痛み など



## ■ 子宮頸がんの治療 ■

子宮頸がんの治療法には、症状や進行具合などに応じて手術療法、放射線療法、化学療法を行っていきます。



初期のがんであれば、妊娠の希望を考慮することもできますが、進行すると切除部位も広がりますので、妊娠することが難しくなります。

子宮頸部を切除すると切除範囲によっては性交後の精子子宮内上昇が困難になり、頸管粘液の分泌も低下するため自然妊娠は難しくなります。

## ■ 子宮頸がんの予防 ①ワクチン (1次予防) ■

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス (HPV) の感染を防ぐワクチン接種は、子宮頸がんの1次予防となっています。

日本では、現在3種類のワクチンが承認されています。HPVワクチンは、その種類や接種時の年齢により、2回もしくは3回の接種を1年以内に終了させる必要があります。



名前	サーバリックス	ガーダシル	シルガード
対象	小6～高1女性	小6～高1女性	9歳以上の女性
費用	公費	女性 公費 男性は5万円の自己負担	自己負担約10万円
対応する型	16、18型	16、18、6、11型	16、18、31、33、45、52、58、6、11型
効果	50～70%防ぐ	HPV16、18型 50～70%防ぐ	9種類のHPV 90%防ぐ



HPVは1回の性行為で簡単に感染するため、**ワクチンの接種は性行為を経験する前が望ましいです。**

すでに持続感染しているウイルス型に対してはワクチン接種の効果は乏しいと考えられていますが、45歳までの接種は有効であるという海外の報告もあります。

## ■ 子宮頸がんの予防 ②検診 ■

### ① 問診表に記載する

自覚症状はあるか、  
初経年齢、前回の月経時期  
妊娠、出産歴、流産、中絶歴などを記載  
します。



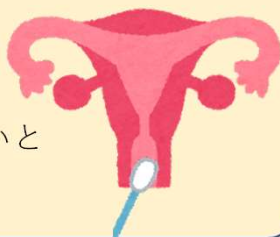
### ② 視診、触診、内診

医師が子宮や卵巣、子宮周辺を触診します  
診察に抵抗がある際は、事前に伝えて  
おきましょう。  
女医を指定することも医療施設によっ  
ては可能ですので、確認しましょう。



### ③ 細胞診

子宮頸部周辺の表面粘膜を専用のブラシで  
こすって細胞を採取します。  
2～3分程で終了し、基本的には痛みはないと  
されています。



検査日は、脱ぎ着しやすい服装や靴での受診をしましょう。  
**生理期間中の受診は避けましょう。**妊娠中の場合は、事前に主治  
医に相談して指示を仰いでください。

## ■ 子宮頸がんの検診の見方 ■

ベセスダ分類	推定される病理結果	結果
NILM	正常	異常なし
ASC-US	軽度異形成	HPV陽性なら軽度異常
LSIL		軽度異常の可能性
ASC-H	中等度/高度異形成	高度以上の可能性
HSIL		
SCC、その他	癌	子宮頸がんの可能性

子宮頸がん検査を受けると、上記の結果で分類  
されます。異常が疑われた時は、腔拡大鏡による  
子宮腔部の観察を行います。これがコルポスコピ  
検診となります。コルポスコピー検査の際に  
併せて組織診を行うこともあります。



異常なし

軽度異形成 CIN1

中等度異形成 CIN2

高度異形成 CIN3

その他（癌など）

組織診は子宮の頸部を拡大し、病変があ  
りそうな部位から1mm四方の組織をとり、  
病変の深さを調べる検査です。

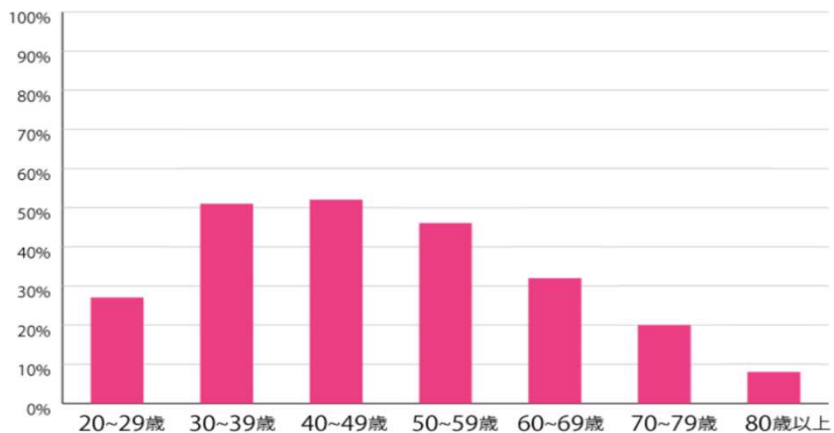
二次検査の結果は2週間ほどで左図の形  
で表示されます。軽度から中等度異形成  
であれば、自然治癒することが多いため  
経過観察とすることが多いです。高度異  
形成以上の場合は、手術可能な大きい医  
療施設で加療を受けることとなります。

## ■ 子宮頸がんの受診率 ■

罹患率や死亡率が増加しているにもかかわらず、子宮がん検診の受診率は欧米の85%以上の受検率と比較すると、**日本は42.1%と半数以下の状態**です（平成25年厚生労働省）。

パナナHSでも、2022年度の子宮頸がん受検率は50.9%と先進国と比較すると低い数値となっています。

厚生労働省は、子宮頸がん罹患率や死亡率の多さから、2004年から検診開始年齢を30歳から20歳に変更し、実施年齢を2年に1回としました。20歳以上が検診の対象となりましたが、20代の受診率は25%と低調しています。



パナナHSの健康診断では、「ハピルス健診」から健康診断を申し込みいただくと、**子宮頸がん検査を毎年無料で検査することが可能です**ので、この機会に定期検査を受けてください。

引用文献、参考文献  
日本医師会、日本産婦人科学会、子宮頸がん情報サイトallwomen.jp、MSD製薬、yomiDr、中外製薬おしえて子宮頸がんのコト、新宿レディースクリニック、ティール&ホワイトリボンプロジェクト、非営利型一般社団法人あきらめないがん治療ネットワーク

## ■ 子宮頸がんの予防 啓発キャンペーン ■

11月は「子宮頸がん予防啓発月間」です。乳がん啓発には、ピンクリボンが有名ですが、子宮頸がんは「**ティール&ホワイトリボン**」という青緑と白色のカラーリボンがあります。



10代でワクチン接種、20代からは定期健診を行うことで、子宮頸がんの予防や早期発見、早期予防を行うことが可能です。

MSD製薬では、子宮頸がんの啓発として、情報提供や漫画を投稿していますので、子宮頸がんの理解を深めて、健康の維持増進につなげましょう。



MSD製薬 子宮頸がん予防啓発キャンペーン <https://www.shikyukeigan-yobo.jp/manga/>

産業保健スタッフより  
子宮頸がんは、女性には身近な病となってきています。進行が早い病気ですので、定期的な健診を受けてください。  
また、子宮頸がんや検査等でご不明な事がございましたら、お気軽に産業保健スタッフにお声がけください。